

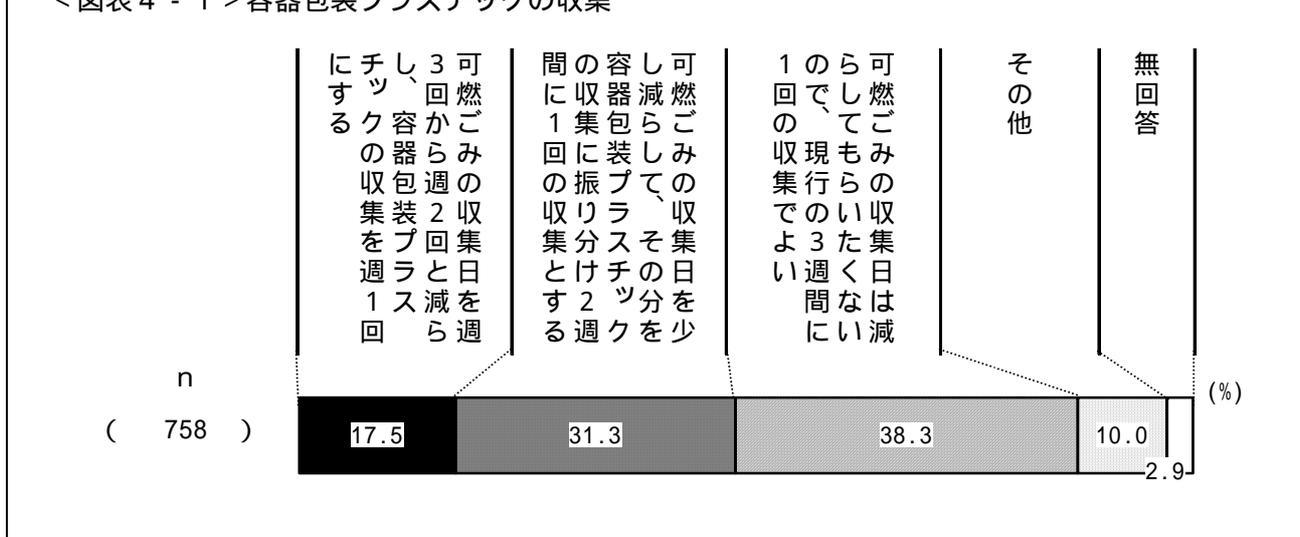
4 環境問題

(1) 容器包装プラスチックの収集

「可燃ごみの収集日は減らしてもらいたくないので、現行の3週間に1回の収集でよい」が4割弱

問7 市では平成18年4月から、新たに容器包装プラスチック(お菓子の袋、卵のパックなどのやわらかいプラスチック)を資源として分別収集するようになりました。容器包装プラスチックの収集回数についてあなたのお考えに最も近いものを次の中から1つだけ選んでください。なお、容器包装プラスチックの現在の収集回数は、3週間に1回となっています。

<図表4-1> 容器包装プラスチックの収集

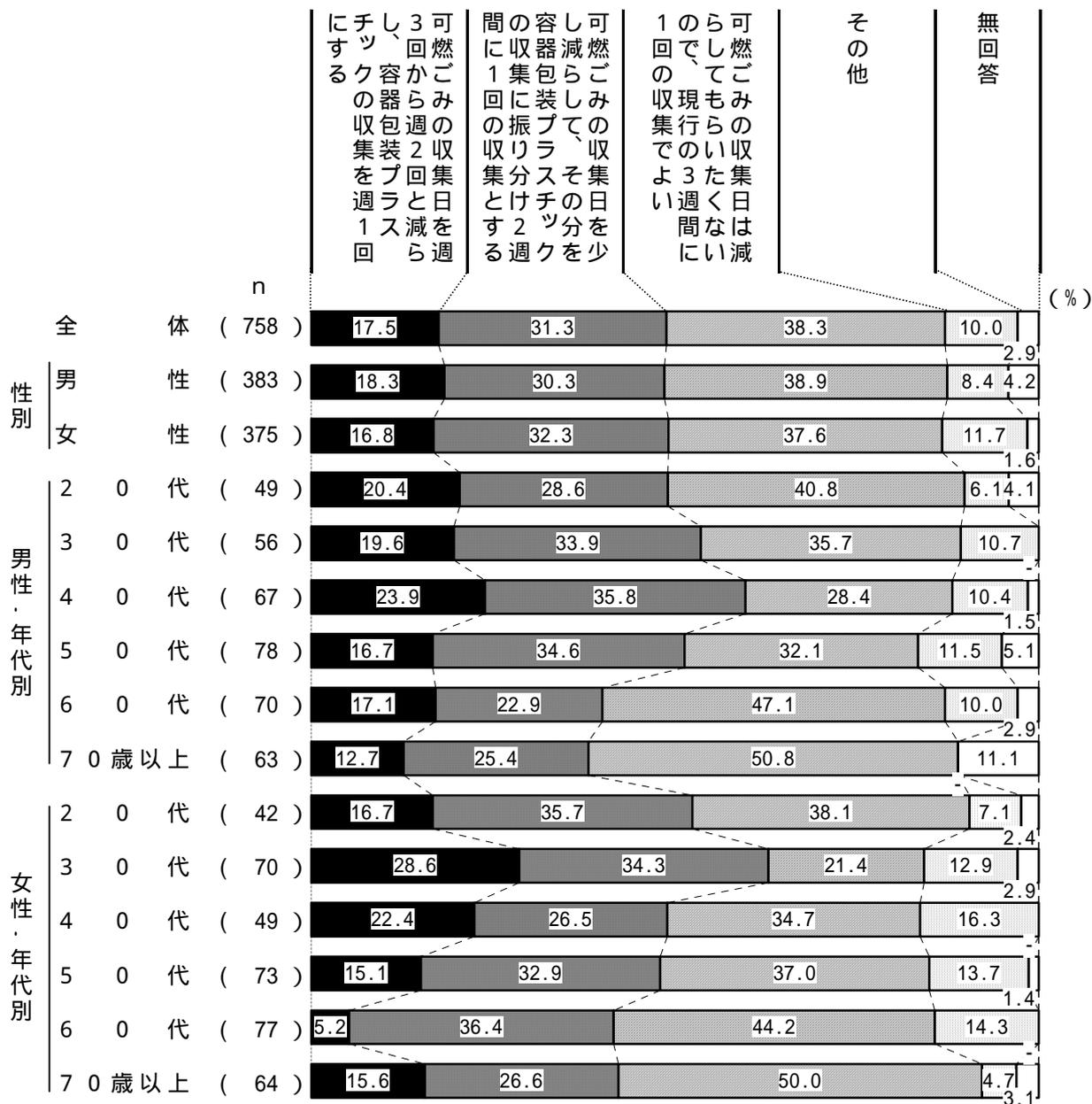


容器包装プラスチックの収集について尋ねたところ、「可燃ごみの収集日は減らしてもらいたくないので、現行の3週間に1回の収集でよい」(38.3%)が最も割合が高く4割弱となっている。「可燃ごみの収集日を少し減らしてその分を容器包装プラスチックの収集に振り分け2週間に1回の収集とする」(31.3%)は約3割、「可燃ごみの収集日を週3回から週2回に減らし、容器包装プラスチックの収集を週1回にする」(17.5%)は2割弱となっており、それらを合わせると《容器包装プラスチック収集の増加希望》者(48.8%)は約半数である。(図表4-1)

性別でみると、特に大きな差異はみられない。(図表4-2)

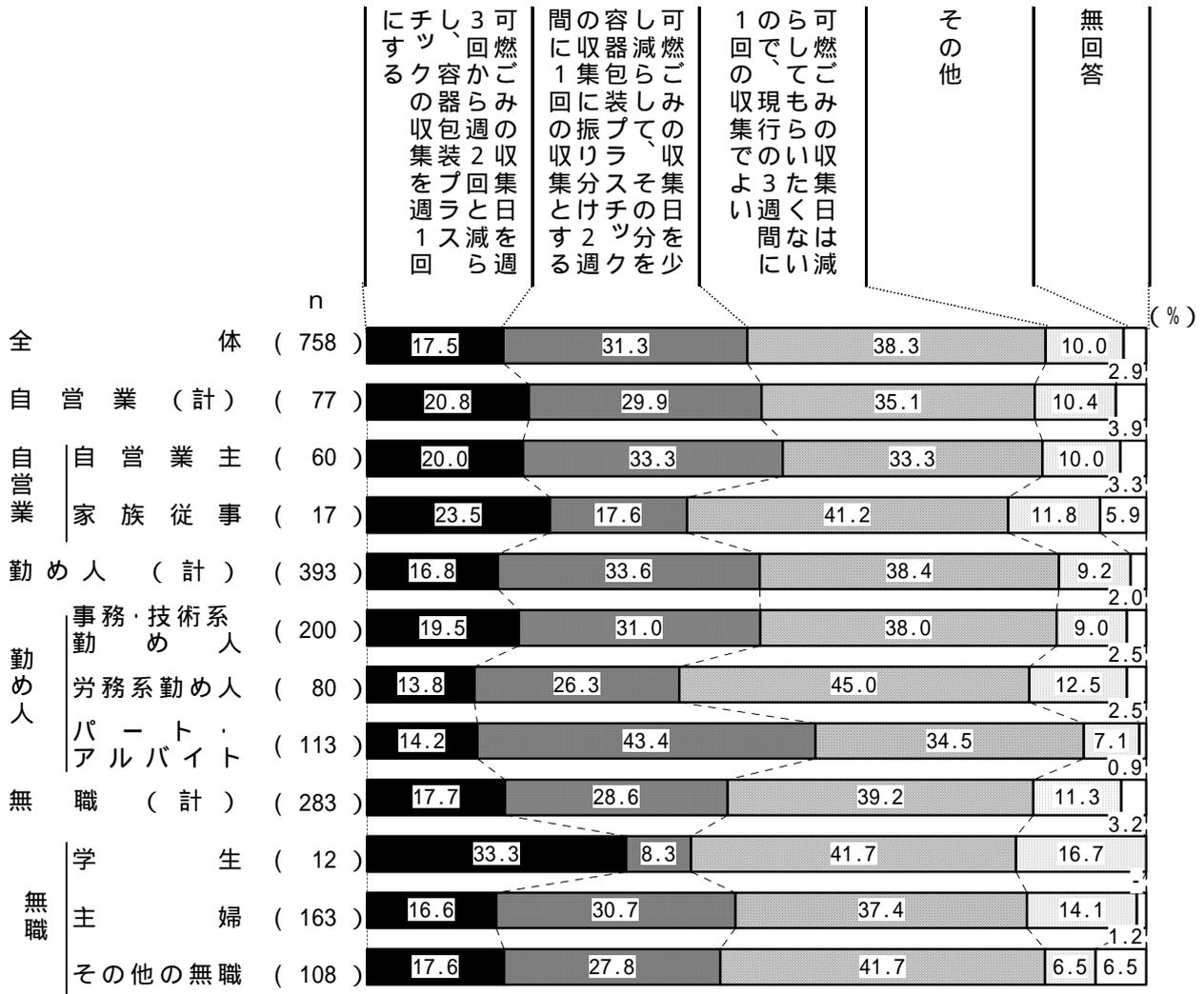
性・年代別では、《容器包装プラスチック収集の増加希望》者は、男性の40代(59.7%)と女性の30代(62.9%)で割合が高く、6割前後を占めている。一方、「可燃ごみの収集日は減らしてもらいたくないので、現行の3週間に1回の収集でよい」は、男性の60代(47.1%)、70歳以上(50.8%)、女性の70歳以上(50.0%)で割合が高く、約2人に1人である。(図表4-2)

<図表4-2> 容器包装プラスチックの収集 / 性別、性・年代別



職業別では、《容器包装プラスチックの収集の増加希望》者は、パート・アルバイト（57.5%）で割合が高く、6割弱となっている。主婦では、《容器包装プラスチックの収集の増加希望》者（47.2%）は、5割弱、「可燃ごみの収集日は減らしてもらいたくないので、現行の3週間に1回の収集でよい」（37.4%）は4割弱である。（図表4-3）

<図表4-3> 容器包装プラスチックの収集 / 職業別

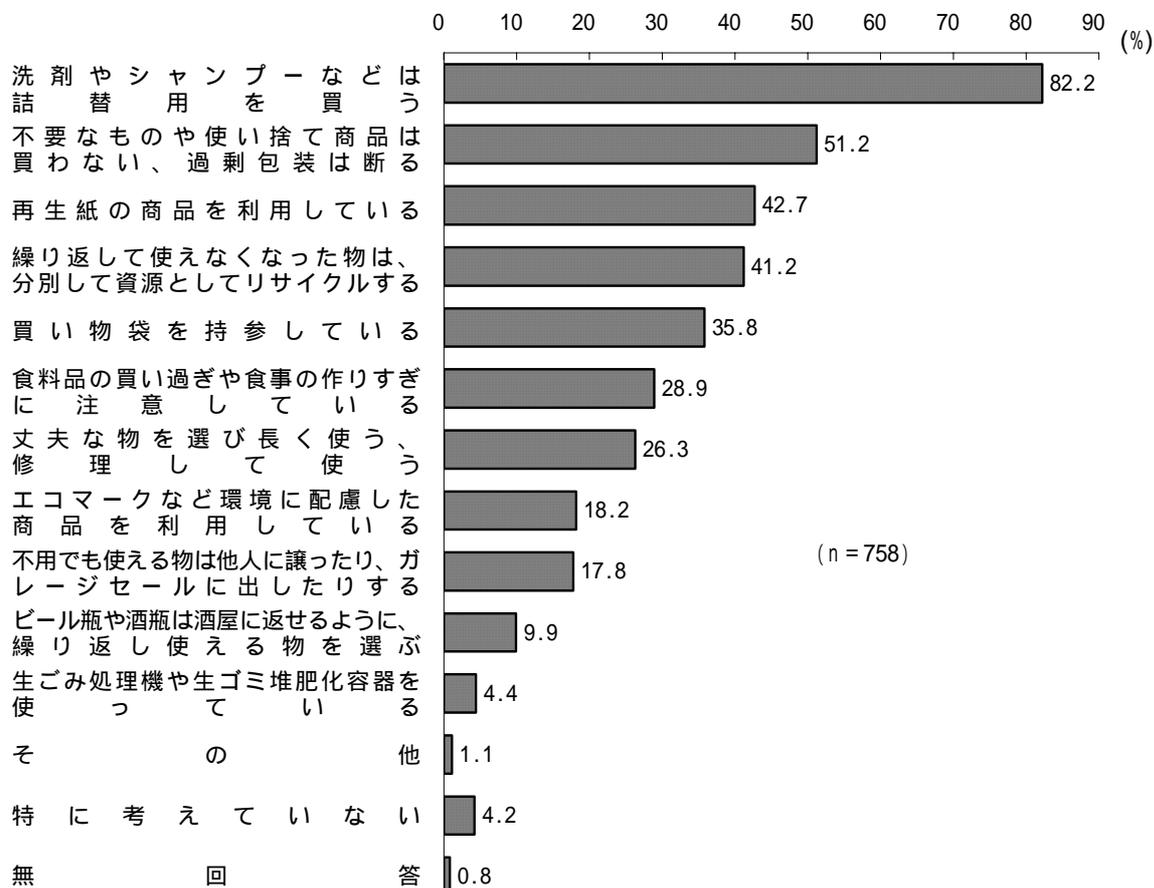


(2) ごみ減量やリサイクルのために心がけていること

「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」が8割

問8 あなたがごみ減量やリサイクルを進める上で、日常心がけていることは何ですか。次の中からいくつか選んでください。

<図表4-4> ごみ減量やリサイクルのために心がけていること(複数回答)



ごみ減量やリサイクルで心がけていることについて尋ねたところ、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」(82.2%)の割合が8割を占め、最も高くなっている。次いで「不要なものや使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る」(51.2%)が約半数、「再生紙の商品を利用している」(42.7%)、「繰り返して使えなくなった物は分別して資源としてリサイクルする」(41.2%)が4割台である。以下、「買い物袋を持参している」(35.8%)、「食料品の買い過ぎや食事の作りすぎに注意している」(28.9%)、「丈夫なものを選び長く使う、修理して使う」(26.3%)と続く。(図表4-4)

平成15年度の調査結果と比較すると、多くの項目で前回調査を上回っており、特に「不要なものや使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る」は10ポイント、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」は8ポイント増加している。(図表4-5)

<図表4-5> ごみ減量やリサイクルのために心がけていること(平成15年度調査)

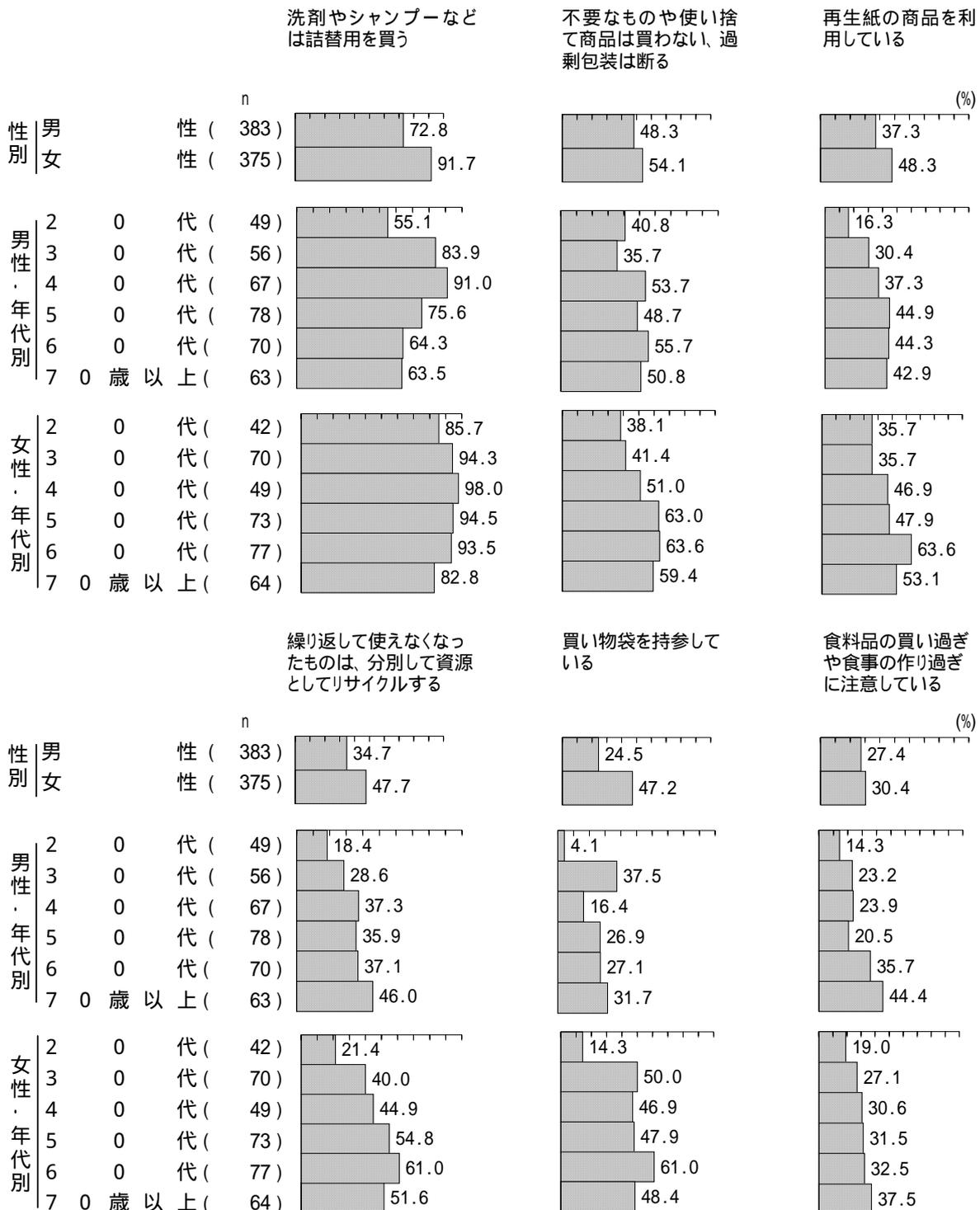
n	洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う	不要なものや使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る	再生紙の商品を利用している	繰り返して使えなくなった物は、分別して資源としてリサイクルする	買い物袋を持参している	丈夫な物を選び長く使う、修理して使う	食料品の買い過ぎや食事の作りすぎに注意している	セラーに譲ったり、ガレージセールに出したりする	不用でも使える物は他人に譲ったり、ガレージセールに出したりする	エコマークなど環境に配慮した商品を利用している	返せる物やビール瓶、酒瓶は酒屋に返す	生ごみ処理機や生ゴミ堆肥化容器を使っている	その他	特に考えていない
784	74.2	41.1	39.4	37.0	31.8	24.9	21.7	20.9	15.9	11.5	5.5	2.2	5.7	

(%)

上位6項目について性別で見ると、男性より女性で割合が高い項目が多くなっており、特に「買い物袋を持参している」(23ポイント)、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」(19ポイント)、「繰り返し使えなくなった物は分別して資源としてリサイクルする」(13ポイント)、「再生紙の商品を利用している」(11ポイント)が、女性で10ポイント以上割合が高くなっている。また、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」は、女性(91.7%)では9割を占め、男性(72.8%)についても7割台と男女ともに高い割合を示している。(図表4-6)

性・年代別では、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」は女性においては幅広い年代で高い割合を示しているのに対し、男性では40代(91.0%)が約9割、30代(83.9%)が8割台半ばと目立って高い。また、「不要なものや使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る」、「再生紙の商品を利用している」、「繰り返し使えなくなった物は分別して資源としてリサイクルする」は、女性では年齢が上がるにしたがって高くなる傾向がみられる。(図表4-6)

<図表4-6>ごみ減量やリサイクルのために心がけていること/性別、性・年代別

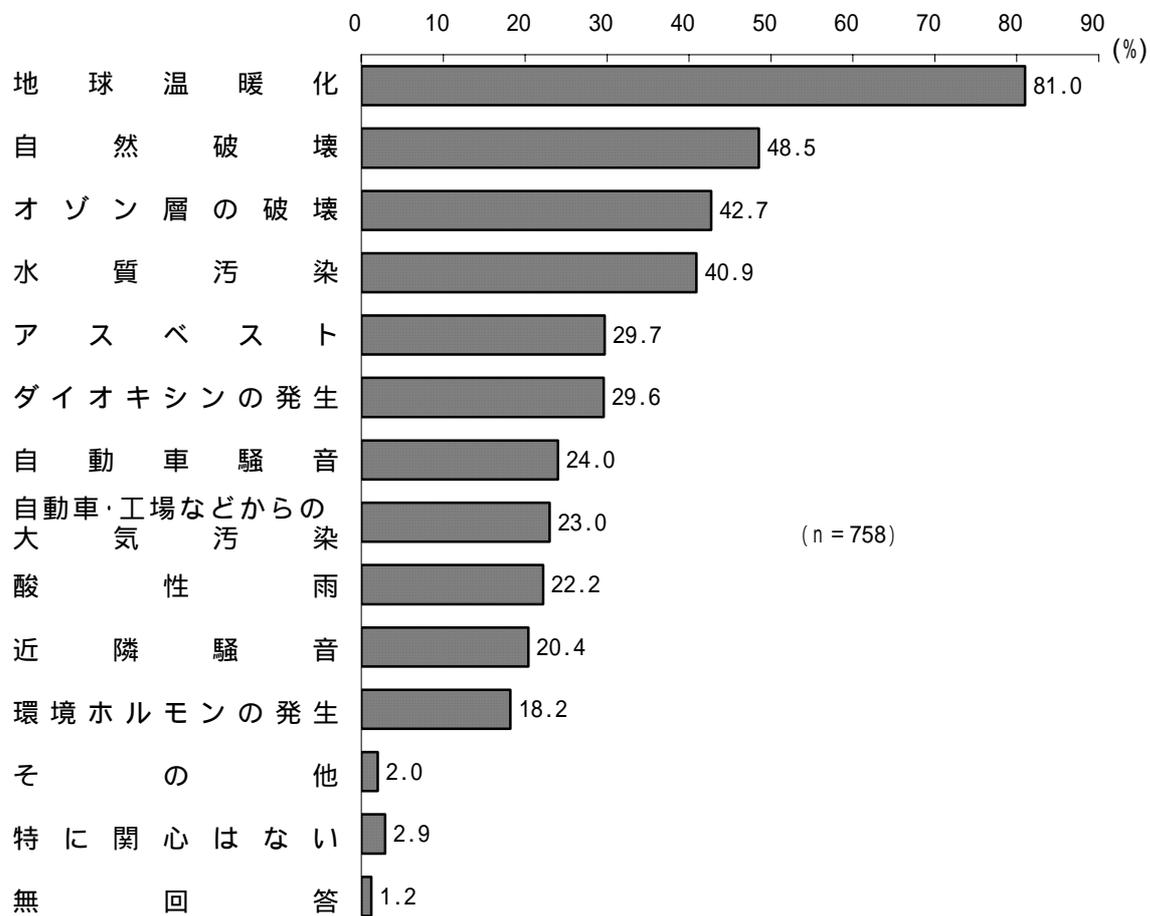


(3) 関心のある環境問題

「地球温暖化」が8割

問9 あなたは環境問題について、最近どのような事柄に関心がありますか。関心のあるものを次の中からいくつでも選んでください。

<図表4-7> ごみ減量やリサイクルのために心がけていること



環境問題について、最近どのような事柄に関心があるか尋ねたところ、「地球温暖化」(81.0%)の割合が最も高く、約8割となっている。次いで、「自然破壊」(48.5%)、「オゾン層の破壊」(42.7%)、「水質汚染」(40.9%)が4割台で、「アスベスト」(29.7%)、「ダイオキシンの発生」(29.6%)が約3割で続く。(図表4-7)

上位6項目について性別でみると、いずれも男性より女性で関心が高くなっている。(図表4-8)
 性年代別では、「地球温暖化」はいずれの性年代でも関心が高く、7割以上の高い割合を示している。

(図表4-8)

<図表4-8> ごみ減量やリサイクルのために心がけていること/性別、性・年代別(上位6項目)

